

衛星「みちびき」6号機公開

今年度中の打ち上げを目指す

三菱電機は、2024年度中の打ち上げを目指す測位衛星「みちびき」の6号機の完成機体を同社鎌倉製作所（神奈川県鎌倉市）で公開した。

「みちびき」は数センチ単位の精密測位ができる日本版GPS（全地球測位システム）を実現する衛星で現在、4機体制で運用されている。

政府は25年度までに5〜7号機を打ち上げて計7機体制とし、米国のGPSなどに頼らないシステムを目指す。

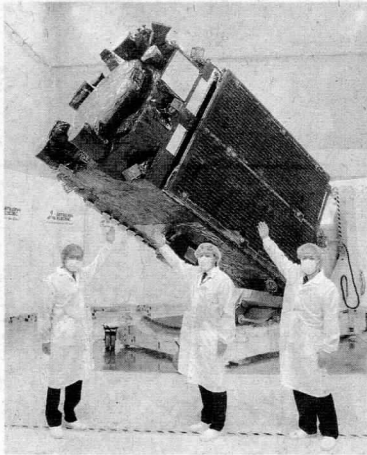
6号機は太陽電池パネルを広げた全長が約19メートル、機体の重さは約1.9トン。赤道上空約3万6000キロに静止して、距離測定機能の向上を図る。

開発費は5〜7号機で計約1

三菱電機

000億円。将来的にはバックアップも含めた11機へ拡張させるという。

三菱電機の市川卓・宇宙システム事業部長は「日本の測位インフラとして非常に重要な衛星。打ち上げに向け作業を頑張っていくたい」と意気込みを語った。



報道公開された測位衛星「みちびき」6号機。神奈川県鎌倉市の三菱電機鎌倉製作所